



山田こうじです！

2020年9月6日

NO.242

事務所：西院上花田町36-3

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

福祉サービス削減・利用者負担増押しつけの「持続可能な行財政改革審議会」は中止を！



コロナ禍で、医療や福祉、保育、介護、公共交通等、社会生活を支える、エッセンシャルワーカーへの支援が求められています。ところが、京都市は、逆に歳出削減をテーマに福祉関連経費削減を求めています。今年6月に「歳入・歳出の両面からの行政改革を加速させる」として、外部委員8人による「持続可能な行財政改革審議会」を設置しました。

敬老乗車証を守れ！

調し、市民サービス削減一辺倒の議論となっています。

「一般財源収入は横ばい状況に対し、福祉関連経費は倍増」「18年度決算で、政令市の中で老人福祉費が多」などと説明し、敬老乗車証制度を「見直し」の対象としました。審議会の議論は、財政面だけで削減前提の議論です。

敬老乗車証は、長年にわたり社会に貢献された高齢者に敬意を表し、様々な社会活動に参加し生きがいづくり、政策的価値があります。

「敬老乗車証守ろう！連絡会」は8月27日、改悪反対を求める署名を追加提出し、4万6559人分となりました。

国保・保育を守れ！

一般会計からの国民健康保険事業への繰り入れや、保育士の処遇改善のための保育所運営助成等も見直しの対象となっています。

まさに、市民生活全般にわたる削減です。7回の会議を経て、来年3月に市長に答申する予定です。

コロナ禍でやることではありません。反対の声を上げましょう。

PCR検査 大規模に

日本共産党京都市会議員団は、門川大作市長に対し、防疫を目的とした大規模なPCR検査を行うよう求め、緊急の申し入れを行いました。

対応した市の危機管理官は、「保健所と検査体制について最大の課題として検討している」「保健所の体制を最大限大事にしたい」と述べました。



第184回 暮らしのなんでも相談会

暮らしにかかわるどんなことでも…
金融・債務の整理・相続・税金・労働・医療・健康保険料の支払い・地域要望等、どんなことでも結構です。

9月12日(土) 午後1時半～3時

会場 安井後援会事務所(安井小学校前)

主催 日本共産党市会議員 山田こうじ事務所

佐々木 義人 801-9379

田中ひづる！

NO.236

コロナ感染症の収束が見通せないなか、多くの青年が不安を抱えています。

8月31日の夜7時から8時までの1時間、民青同盟の青年のみなさんと、対話アンケートに取り組みました。

介護の資格を目指す女性には、「9月の実習が決まらず不安。学費が高すぎて、奨学金を借りているが、将来が見通せない。」(大学3年生)「今年、東京の大学に進学したが一度も東京に行っていない。」(大学1年生)「短い夏休みに課題がいっぱいで休めない。」(高校1年生)「ダンス部に入っているが、発表の機会がない。」「文化祭も体育祭も中止か規模縮小。」(高校1年生)

なにより、中止や規模縮小等、いろんなことが学生抜きで決まっていることに疑問を感じる。不安を抱える若者の声を集めて、声を上げよう！

